分野別施策・指標評価表（心疾患対策）

予防

C　個別施策

番号		指標項目	基準年度	直近	結果	目標	目標の考え方
1		市町村等の保健指導担当者の技術向上支援					
	指標	保健指導担当者に対する研修会の開催数	R4年度 5回	R5年度 5回	→	R11年度 5回	現状を維持
2		県民に対する生活習慣病の予防及び正しい知識の普及、啓発	基準年度	直近	結果	目標	目標の考え方
	指標	県民向けの講座・イベントの実施回数	R4年度 4回	R5年度 5回	↗	R11年度 5回	現状より向上
3		特定健診未受診者への受診勧奨の実施	基準年度	直近	結果	目標	目標の考え方
	指標	特定健診受診率 市町村国保 協会けんぽ	R3年度 32.8% 59.8%	R4年度 34.5% 64.2%	↗ ↗	R11年度 60% 65%	沖縄県国民健康保険運営方針の目標値 全国健康保険協会目標値
4		特定健診での有所見者への保健指導の実施	基準年度	直近	結果	目標	目標の考え方
	指標	特定保健指導実施率 市町村国保 協会けんぽ	R3年度 62.8% 31.1%	R4年度 61.9% 24.5%	↘ ↘	R11年度 現状より向上 35%	沖縄県国民健康保険運営方針の目標値 全国健康保険協会目標値
5		脂質異常症患者の外来受療の促進	基準年度	直近	結果	目標	目標の考え方
	指標	脂質異常症患者の年齢調整外来受療率	R2年度 40.9	R2年度 40.9	－	R11年度 67.7	全国平均並みに改善（現状より向上）

B　中間アウトカム

番号		指標項目	基準年度	直近	結果	目標	目標の考え方
1		虚血性心疾患の危険因子有所見者が減少している					
	指標	危険因子の有所見率	R1年度	R3年度		R11年度	全国平均並みへ改善（現状より低下）
		BMI（25.0以上）	40.0%	40.0%	→	29.0%	
		収縮期血圧(140以上)	19.3%	20.6%	↘	17.1%	
		拡張期血圧(90以上)	13.3%	14.0%	↘	12.8%	
		空腹時血糖(126以上)	6.8%	6.7%	↗	5.9%	
		HbA1c(6.5以上)	8.4%	8.2%	↗	7.2%	
		中性脂肪(150以上)	23.2%	22.6%	↗	20.2%	
		LDLコレステロール(140以上)	30.1%	30.0%	↗	現状より向上	
		HDLコレステロール(40未満)	4.8%	4.8%	→	4.2%	

A　分野アウトカム

番号		指標項目	基準年度	直近	結果	目標	目標の考え方
1		虚血性心疾患患者の発症数が減少している					
	指標	急性心筋梗塞（続発性合併症を含む）、再発性心筋梗塞の件数	R3年度 沖縄県 637 北部 22 中部 239 南部 332 宮古 21 八重山 23	R4年度 沖縄県 673 北部 30 中部 240 南部 346 宮古 38 八重山 19	↘ ↘ ↘ ↘ ↗	R11年度 現状より低下	現状より低下

救護

		指標項目	基準年度	直近	結果	目標	目標の考え方
6		県民に対する急性心筋梗塞の症状、発症時の対処法の普及、啓発					
	指標	県民に対する講演会等の開催回数	R4年度 4回	R5年度 141回	↗	R11年度 5 回	各二次医療圏で実施

		指標項目	基準年度	直近	結果	目標	目標の考え方
2		発症後、速やかに救急要請・搬送が行われている					
	指標	心疾患による救急搬送患者の初診時の死亡数	R2年度 326人	R3年度 368人	↘	R11年度 現状より低下	現状より低下

急性期

		指標項目	基準年度	直近	結果	目標	目標の考え方
7		24時間PCIが実施可能な体制の整備					
	指標	24時間PCIが実施可能な医療機関がある二次医療圏数	R4年度 5圏域	R5年度 5圏域	→	R11年度 5圏域	全ての二次医療圏での確保
8		救急搬送時の救急隊員による12誘導心電図検査の実施	基準年度	直近	結果	目標	目標の考え方
	指標	救急搬送時の救急隊員による12誘導心電図伝送の実施件数	R4年度 857件	R5年度 1,108件	↗	R11年度 現状より増加	実施件数の拡大

		指標項目	基準年度	直近	結果	目標	目標の考え方
3		虚血性心疾患の急性期医療の質が確保されている					
	指標	来院後90分以内の冠動脈再開通率	R3年度 沖縄県 57.6% 北部 51.9% 中部 65.5% 南部 58.2% 宮古 60.0% 八重山 ＊ %	R4年度 沖縄県 53.2% 北部 34.4% 中部 62.8% 南部 50.7% 宮古 55.1% 八重山 ＊ %	↘ ↘ ↘ ↘ ↘ －	R11年度 61.2% 61.2% 現状より向上 61.2% 61.2% 61.2%	全国平均並みへ改善（現状より向上）

		指標項目	基準年度	直近	結果	目標	目標の考え方
2		虚血性心疾患の年度齢調整死亡率が低下している					
	指標	虚血性心疾患の年齢調整死亡率	R2年度 男性 70-74歳 131 65-69歳111.9 60-64歳 69.9 55-59歳 71.8 50-54歳 32.2 45-49歳 25.9 40-44歳 18.3 女性 70-74歳 33.6 65-69歳 16.7 60-64歳 19.8 55-59歳 9.1 50-54歳 ※ 45-49歳 1.9 40-44歳 2	R2年度 男性 70-74歳 131 65-69歳111.9 60-64歳 69.9 55-59歳 71.8 50-54歳 32.2 45-49歳 25.9 40-44歳 18.3 女性 70-74歳 33.6 65-69歳 16.7 60-64歳 19.8 55-59歳 9.1 50-54歳 ※ 45-49歳 1.9 40-44歳 2	－	R11年度 31.3 現状より低下 R11年度(男性) 138.8 96.4 70.7 現状より低下 現状より低下 18.1 10.3 R11年度(女性) 現状より低下 24.1 13.9 現状より低下 6.4 3.5 2.0	全国平均並みへ改善（現状より向上）

		指標項目	基準年度	直近	結果	目標	目標の考え方
9		大動脈緊急症の対応のための連携体制構築のための取組					
	指標	大動脈緊急症の連携体制構築の為の協議会の回数	R4年度 0 回	R5年度 0 回	→	R11年度 現状より増加	協議の実施

		指標項目	基準年度	直近	結果	目標	目標の考え方
4		大動脈緊急症の対応のための連携体制の確保					
	指標	大動脈緊急症を24時間体制で対応可能な体制を構築している二次医療圏数	R5年度 5圏域	R6年度 5圏域	→	R11年度 5圏域	受入体制の確保
5	指標	大動脈緊急症の手術件数（二次医療圏）	R3年度 北部 ※ 中部 39 南部 152 宮古 0 八重山 0	R4年度 北部 ※ 中部 34 南部 165 宮古 0 八重山 0	－ ↘ ↗ → →	R11年度 現状より増加	受入体制の確保

		指標項目	基準年度	直近	結果	目標	目標の考え方
3		大動脈緊急症の死亡率が減少している					
	指標	大動脈緊急症の死亡率	R2年度 手術有り 12% 手術なし 42%	R2年度 手術有り 12% 手術なし 42%	－	R11年度 現状より低下	現状より低下

回復期

		指標項目	基準年度	直近	結果	目標	目標の考え方
10		心大血管リハビリテーションが提供される体制づくり					
	指標	心大血管リハビリテーション料届出医療機関数	R５年度 19施設	R５年度 21施設	↗	R11年度 現状より増加	現状より向上
11		急性期入院時からの心血管疾患リハビリテーションの提供	基準年度	直近	結果	目標	目標の考え方
		急性期病院における心大血管疾患リハビリテーションの提供単位数（単位・人/日）	R4年度 沖縄県 1.60 北部 0.59 中部 2.55 南部 1.75 宮古 0 八重山 0.88	R4年度 沖縄県 1.60 北部 0.59 中部 2.55 南部 1.75 宮古 0 八重山 0.88	－	R11年度 現状より増加	現状より向上

		指標項目	基準年度	直近	結果	目標	目標の考え方
6		急性期入院時から維持期まで、継続したリハビリテーションが提供されている					
	指標	入院心血管リハビリテーションの実施件数	R3年度 沖縄県 3,441 北部 150 中部 796 南部 2,420 宮古 0 八重山 75	R4年度 沖縄県 3,351 北部 155 中部 766 南部 2,344 宮古 0 八重山 86	↘ ↗ ↘ ↘ － ↗	R11年度 現状より増加	現状より向上
7	指標	外来心血管リハビリテーションの実施件数	R3年度 沖縄県 1,775 北部 27 中部 217 南部 1,474 宮古 0 八重山 57	R4年度 沖縄県 1,685 北部 46 中部 233 南部 1,332 宮古 0 八重山 74	↘ ↗ ↗ ↘ － ↗	R11年度 現状より増加	現状より向上

		指標項目	基準年度	直近	結果	目標	目標の考え方
4		虚血性心疾患患者が在宅等での生活に復帰できている					
	指標	在宅等生活の場に復帰した虚血性心疾患患者の割合	R2年度 沖縄県 94.9% 北部 98.1% 中部 93.7% 南部 95.3% 宮古 83.3% 八重山 100%	R2年度 沖縄県 94.9% 北部 98.1% 中部 93.7% 南部 95.3% 宮古 83.3% 八重山 100%	－	R11年度 現状より向上 現状より向上 現状より向上 現状より向上 92.3% 現状より向上	R11年度 全国平均並みへ改善（現状より向上）
5	指標	在宅等生活の場に復帰した大動脈疾患患者の割合	R2年度 沖縄県 76.5% 北部 ※ 中部 77.7% 南部 74.8% 宮古 100% 八重山 100%	R2年度 沖縄県 76.5% 北部 ※ 中部 77.7% 南部 74.8% 宮古 100% 八重山 100%	－	R11年度 現状より向上 現状より向上 現状より向上 現状より向上 現状より向上 現状より向上	R11年度 全国平均並みへ改善（現状より向上）
6		心不全患者の年齢調整死亡率及び再入院患者数が減少している	基準年度	直近	結果	目標	目標の考え方
	指標	心不全患者の年齢調整死亡率	R2年度 男性 70-74歳 34.8 65-69歳 16.6 60-64歳 17.5 55-59歳 18 50-54歳 6.4 45-49歳 5.6 40-44歳 ※ 女性 70-74歳 15.5 65-69歳 2.1 60-64歳 8.8 55-59歳 4.5 50-54歳 ※ 45-49歳 5.7 40-44歳 ※	R2年度 男性 70-74歳 34.8 65-69歳 16.6 60-64歳 17.5 55-59歳 18 50-54歳 6.4 45-49歳 5.6 40-44歳 ※ 女性 70-74歳 15.5 65-69歳 2.1 60-64歳 8.8 55-59歳 4.5 50-54歳 ※ 45-49歳 5.7 40-44歳 ※	－	R11年度 現状より低下 現状より低下 R11年度(男性) 現状より低下 現状より低下 現状より低下 現状より低下 現状より低下 5.6 2.3 R11年度(女性) 現状より低下 現状より低下 現状より低下 現状より低下 現状より低下 1.7 現状より低下	R11年度 全国平均並みへ改善（現状より向上）
7	指標	心不全患者の再入院率	R4年度 42日以内 10.7% 180日以内16.3%	R4年度 42日以内 10.7% 180日以内16.3%	－	R11年度 現状より低下	現状より向上

維持期

		指標項目	基準年度	直近	結果	目標	目標の考え方
12		治療・介護を行う多職種が患者情報を把握した適切な支援の実施 かかりつけ医による質の高い心不全管理の提供					
	指標	心不全治療を可能とするかかりつけ医数（心不全管理に関する研修会参加医療機関）	R4年度 21機関	R5年度 26機関	↗	R11年度 現状より増加	現状より向上

		指標項目	基準年度	直近	結果	目標	目標の考え方
8		多職種が連携した心不全管理の体制が構築されている					
	指標	多職種が連携した心不全治療チームのある医療機関数	R4年度 18医療機関	R4年度 18医療機関	－	R11年度 現状より増加	現状より向上

社会生活

		指標項目	基準年度	直近	結果	目標	目標の考え方
13		心不全緩和ケアが提供できる地域医療体制の構築					
	指標	心不全緩和ケアに関する研修会に参加した医療機関数	R5年度 0	R5年度 0	－	R11年度 現状より増加	現状より向上

		指標項目	基準年度	直近	結果	目標	目標の考え方
9		心不全緩和ケアが提供できている医療施設					
	指標	心不全患者緩和ケア実施病院数　1外来　2入院	R4年度 9施設 14施設	R4年度 9施設 14施設	－	R11年度 現状より増加	現状より向上
10		心不全緩和ケアが提供できる体制の整備	基準年度	直近	結果	目標	目標の考え方
	指標	心不全緩和ケアチームを保有している病院数	R4年度 10 施設	R4年度 10 施設	－	R11年度 現状より増加	現状より向上

		指標項目	基準年度	直近	結果	目標	目標の考え方
14		先天性心疾患患者の移行期の支援体制の構築					
	指標	移行期医療支援センターの設置に向けた準備作業（関係者間の意見交換、研修等）	R4年度 実施	R6年度 実施	→	R11年度 実施	センター設置を目指す

		指標項目	基準年度	直近	結果	目標	目標の考え方
11		先天性心疾患患者の移行期医療提供の為の支援が出来ている					
	指標	移行期医療支援センターの設置、運営	R4年度 0 箇所	R6年度 0 箇所	→	R11年度 1箇所	センター設置を目指す

		指標項目	基準年度	直近	結果	目標	目標の考え方
8		先天性心疾患の患者が成人期に達しても安心して切れ目ない医療を受けることができ、自立した社会生活を送れる					
	指標	1患者への教育 2医療、行政、福祉、教育関係機関との連携	R4年度 未実施	R6年度 未実施	－	R11年度 実施	現状より増加